

環境リサイクル肉牛協議会第 12 回総会

特定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会第 3 回通常総会

議 案 書

日 時: 2011 年 6 月 11 日(土)11:10～

場 所: ランチヨ エルパソ 2F

会議 次第

1. 開会挨拶
2. 議長・議事録署名人の選出、書記指名
3. 議事
 - 1) 第 1 号議案 2010 年度事業報告及び収支決算に関する件
 - 2) 第 2 号議案 2011 年度事業計画及び収支予算に関する件
 - 3) 第 3 号議案 役員の改選
 - 4) その他
4. 閉会

第 1 号議案

2010 年度事業報告

- | | | | |
|----|-------------|------|-----------|
| 1. | 会員(2010 年度) | 個人会員 | 16 |
| | | 団体会員 | 13 |
| 1) | 生産者・生産者団体 | | 9 |
| 2) | 食肉流通業者 | | 5 |
| 3) | 消費者団体 | | 1 |
| 4) | 学研・指導機関 | | 8 |
| 5) | 飼料・食品業者 | | 6 |
| | 合 計 | | <u>29</u> |

入会 西尾康宏 氏

団体会員への移行 日高 智 氏 → 帯広畜産大学(代表 口田圭吾 氏)

2. 組織体制の整備と部門制の確立

前年度と同様に理事が遠隔地に分散しており拡大理事会の開催等で畜産試験場、JA めむろの会員等の協力を得て会の運営に当たった。役割分担は以下のとおり事務局と畜産

試験場が主体的に対処。

- 1) 会の運営・全体情宣活動 = 事務局
- 2) シンポジウム運営 = 畜産試験場
- 3) 「アグリサイクル」発行 = 事務局
- 4) 「e-びーふ」認定委員会 = 畜産試験場
- 5) 生産情報収集・資料作成・ホームページ = 事務局

3. 機関誌の発行

機関誌「アグリサイクル」8・9号合併号 を発行。

4. インターネットホームページによる情報提供 <http://www.recycle-gyu.com>
2-3ヵ月毎の年 4-5 回の更新を計画したが、年度内更新は1回のみとなった。
アクセス件数 2011年5月22日現在 9,049

5. 総会・理事会の開催

- 1) 総会 第11回総会 2010年5月29日(土)10:00～
場所 ランチョ・エルパソ 2F
- 2) 理事会 5/28, 11/10, 2/25 計3回開催。予算の修正、活動状況点検
- 3) 幹事・実行委員会 6/10, 11/4, 11/10, 11/18 計4回開催。シンポジウムの企画・準備・運営。

6. 2010年度レインボー・パル基金助成対象活動の取り組み

「エコフィードで生産された牛肉の食味特性に関する調査研究」の課題で20万円の助成を受けて副産物を飼料活用している肉牛肥育農家の肥育成績・肉質、販売実績に関する情報を収集し分析を行った。e-びーふの食味性評価調査や学術情報収集や過去に実施していた神奈川・福岡における副産物飼料利用肉牛生産の現場調査の結果等を解析した。

(別紙 2010年レインボー基金報告書 参照)

7. 「e-びーふ」認定事業の取り組み

e-びーふ認定は現在第4号までとなっており、今年度は認定申請がなく、発掘活動が停滞しており、取り組みの強化が課題である。また、池田牧場は現在、e-びーふを生産しておらず第3号は休止状態としてHPでの紹介・公表から削除された。

e-びーふ認証第1号である榛澤牧場は、昨年11月に「全国優良畜産経営管理技術発表会」で農林水産大臣賞を受賞された。未利用資源の活用と「土-草-牛」が調和して高い飼料自給率を実現した環境に優しい牛肉生産の取り組みが評価された。このことは、資源循環型牛肉生産の普及という協議会の活動自体への評価とも捉えることができ、これを契機に協議会はe-びーふ認定事業に一層の活性化を図る必要がある。

(別紙 コアフード牛肉通信 号外 参照)

8. 資源循環型牛肉生産シンポジウムの開催

- ・ 資源循環型牛肉生産シンポジウム 2010
- ・ テーマ : 副産物利用と自給飼料活用による牛肉生産を目指して
- ・ 11月10日(水)13:00～16:30 会場: 帯広東急イン 2F

- ・ 主催／(特)環境リサイクル肉牛協議会、北海道肉牛研究会、(社)配合飼料供給安定機構、後援／北海道十勝総合振興局ほか 8 団体
- ・ 参加者 160 人、
- ・ 現地検討会：11 月 11 日(木)9:00-12:00 北海道バイオエタノール(株)十勝清水工場、参加者 30 名

9. 比較食味テスト

e-びーふ牛肉と配合飼料主体飼養牛肉との食味比較を総会・臨時総会およびシンポジウム開催と併せて実施。

10. 肉牛飼養技術研修会の開催

1) 第1回 5月 29日(土) 参加者25名

話題提供 1) 小麦後作エン麦の飼料化 肉牛への利用

根釧農業試験場 森本正隆氏

話題提供 2) 北海道における飼料用トウモロコシ試験の現状について

根釧農業試験場 宮崎 元氏

2010 年度収支決算報告

(別紙資料 決算書・監査報告、貸借対照表および財産目録 参照)

第 2 号議案

2011 年度事業計画

平成 23 年度事業計画書 (別紙 参照)

1. 会員募集(2011 年度)

生産農家・流通業者・消費者団体・学術行政指導機関・飼料生産・流通関係者等
広範囲に理解者を参集して目標会員数 合計 30 名以上。

2. 組織体制の整備・強化

1) 強化の必要な部門の充実

(1) 総務担当 → 協議会の会務・運営(事務局)

(2) 事業部・機関誌編集・ホームページ担当 → 情宣活動全般

2) 理事 6 人体制を確立し、帯広近隣から理事を選出し、事務局の充実を図る。

3. 通常総会と理事会の随時開催

1) 2011 年度第 12 回定期総会(NPO 法人第 3 回通常総会)

2) 理事会 必要に応じ開催する。

協議会活動の進捗状況の報告と分析、予算の修正。

4. 「e-びーふ」認証事業の活性化; 認証農家の増加 : 定款5条1-①

- 1) 新たな e-びーふ認証農家の発掘。
 - 2) 認証適格農場の実態調査。
 - 3) モデル農場の展示紹介、パネル設置等の啓蒙活動を推進する。
5. 学術情報の収集と飼養技術研修会の開催 : 定款5条1-②
- 1) 肉牛関連学会・研究会の学術情報調査
 - 2) 自給飼料・副産物活用型牛肉生産の試験成績の学習検討会開催
6. 2011 年度レインボー・パール基金助成事業の取り組み : 定款5条1-③
- 課題「酪農で廃棄されるフリーマーチン雌の集約放牧と副産物飼料利用による肉生産への活用技術の試験研究」について稚内市 樺岡牧場、足寄町 大平牧場との共同研究事業を企画する。(別紙 2011 年レインボー基金申請書 参照)
7. シンポジウムの企画 : 定款5条1-④
- 1) 2011 年 11 月 2 日または 7 日開催予定 会場;帯広市内
北海道アングス牛枝肉共励会と同日開催で日程調整
 - 2) 協力・支援機関の発掘とその共同開催を模索し、生産者の参加促進を図る。
 - 3) テーマの考え方 : 自給飼料による牛肉生産体制の構築と副産物の飼料活用
 - 4) e-びーふの比較食味テストを意見交換会に組み込み、配合主体と副産物利用生産牛肉の比較。
8. 機関誌発行・ホームページ編集 : 定款5条1-⑤
- 1) 会報発行 年1回機関誌「アグリサイクル」10 号を発行する。
 - 2) インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。

2011 年度予算案

(別紙 2011 年度 予算書 参照)

第 3 号議案

役員改選

任期: 2011 年 4 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日まで

理事長	左	久	重任
副理事長	嶋村	義文	重任
理事	花房	俊一	重任
理事	榛澤	保彦	重任
理事	山本	裕介	退任

理事	佐藤 幸信	新任
監事	内藤 順介	重任
監事	奈良岡 武任	重任

その他